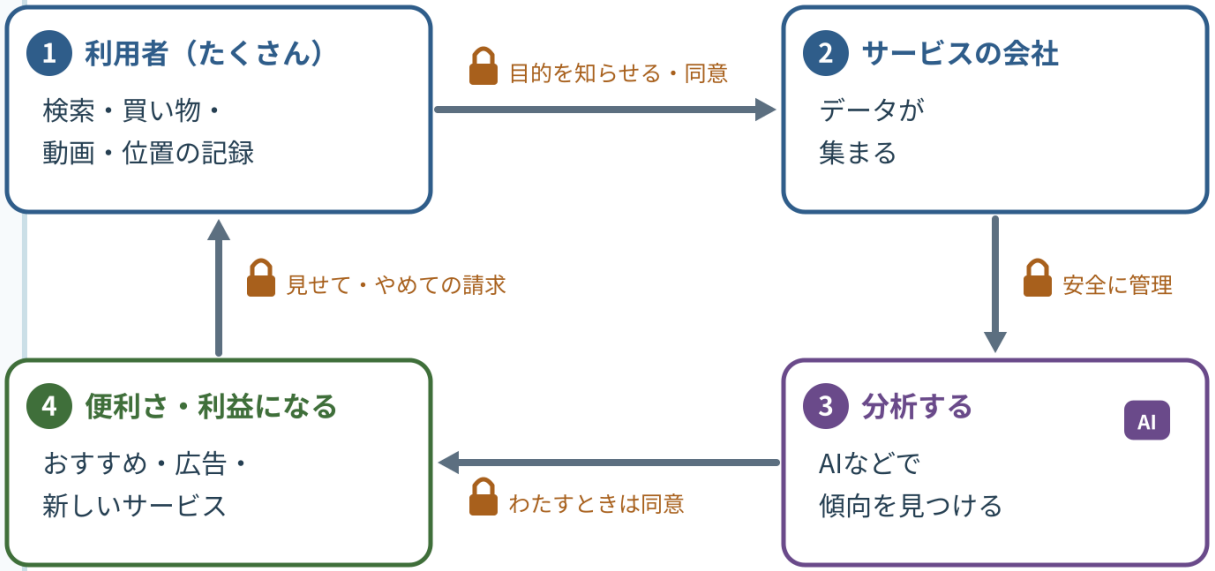
個人のデータが価値になるしくみ（同意とプライバシー）

わたしたちのデータは、どのように集められ、使われているのだろう

データが価値になる循環（模式）



守るためのきまり

（個人情報保護法の考え方）

使う目的
何に使うかを決めて、
知らせる・公表する

安全に管理
もれたり、なくなったり
しないように守る

わたすとき
ほかの会社などにわたすときは、
原則として本人の同意を得る

本人の求め
見せてもらう・使うのを
やめてもらうことを求められる

わたしたちができること

- ✔ **何に使われるか確かめる**
  利用規約・プライバシーポリシー
- ✔ **必要のない情報は入れない**
  名前・住所・写真など
- ✔ **設定を見直す**
  位置情報や広告の設定

便利さとプライバシーのバランスを考えよう

※ 模式図。きまりは、個人情報保護委員会「個人情報保護法の基本」をもとに、やさしく言いかえた。